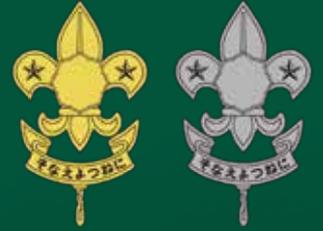


ボーイスカウト・
ベンチャースカウト
向け教材



みんなのちからで
「はぐれプラごみ」を
なくそう!

社会奉仕活動を計画するスカウトのためのヒント集

プラごみバスターズになろう!

2050年の海?!

中央の魚と同じ重さのプラごみの量



今、ごみの自然界流出が深刻な問題となっています。世界の海にただようプラスチックごみは、1億5千万トン以上。このままでは、2050年の海は、魚よりもごみの方が多くなってしまってもいわれています。プラスチックはとても便利なものですが、問題なのは何百年も自然にかえらずに、そのまま残ってしまうこと。だから増える一方なのです。実は、海をただようごみの多くは、私たちが住んでいる街から流れ出たものです。そこで、全国1800団のボーイスカウトの力を集結し、この問題にいどみます!

今回の活動名は「プラごみバスターズ大作戦」!

プラごみバスターズのミッションは街はもちろん、森や川などの自然に落ちている「はぐれプラごみ」の調査や撲滅活動をすることで、地球を美しくすることです。さらに、このミッションをみんなに発信することで、まわりの人たちの意識も変え、はぐれプラごみを減らし、海に流れ込むプラごみをなくすのが目標です。



プラごみバスターズ大作戦!の流れ

「はぐれプラごみ」を調査し、みんなで撲滅しよう!



今回は、回収したごみの場所は「ピリカ」というアプリで見える化します。そして、どうしたら「はぐれプラごみ」を削減できるかをスカウトたちが考え、再びごみが増えないよう行動する方法を考えましょう!

プラごみバスターズ大作戦を通じて、プラごみの課題解決に興味を持ったら、キャンプやハイキングの活動、奉仕活動のテーマに盛り込み、実践してみよう!

プラごみバスターズ大作戦とスカウト進歩・進級とのつながり例

以下の項目とのつながりを考え、教材を作成しています。活動に取り込むヒントとして活用してください。

- アースライブ** プラスチックチャレンジ (汚染が与える影響を知る、影響を軽減する方法を知る)
プラスチックチャレンジ (地域の汚染状況を知る、汚染を減らす行動をする)
プラスチックチャレンジ (生態系を保護するために汚染を減らす方法を考える・仲間に、ごみを減らすよう促す)
- 2級スカウト章** 進級課目: 4. 奉仕 デンコーチとして3か月以上の奉仕、または社会奉仕活動を3回以上実施する。
- 1級スカウト章** 進級課目: 4. 奉仕 班での奉仕活動を計画し、隊長の承認を得て実施、報告する。
- 富士スカウト章** 進級課目: 4. 奉仕
 - (1) 地域社会や学校などでの奉仕活動を企画し、隊長の承認を得て実施、報告する
 - (2) 地区、県連盟、日本連盟の行事等に奉仕し、その実績を報告する。

ヒント
HINT



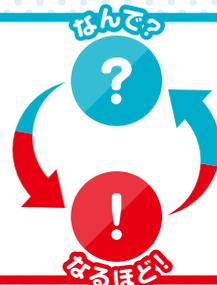
プラスチックの問題について 調べてみよう!

知ること、自分にできることが見えてくる

「なんで?」と考えて 自由に調べてみよう!

インターネットや本で調べてみることはもちろん、自分の目で見て確かめることも大切です。そうすると、他の人が知らないことを発見できたり、その発見から新しいアイデアが生まれたりします。

そもそもプラスチックごみを
へらす方法はあるかな?

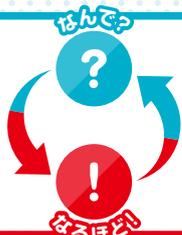


「はぐれプラスチック」は
海に流れ着く前に捕獲しよう!

見つけた情報①

毎年約800万トン（ジャンボジェット機にして5万機相当）のプラスチックごみが新たに海に流れ出ているという説もあります。

大量のごみは
どこからくるの?



今、目の前に落ちてる
ゴミが海にいくんだ!

街の中や海辺、川辺に落ちている「はぐれプラスチック」が雨や風などによって排水溝に流れ込み、やがて川に合流して、そのまま海へ流れ出します。広大な海に流れてしまってもはや回収不可能。何百年も分解しないプラスチックは海を漂い続け、環境や生態系に影響を与えています。

見つけた情報②

太平洋ごみベルトで見つかったウミガメの胃の内容物の74%がプラスチックだったという衝撃的なニュースがありました。

なぜプラスチックを
食べるの?



プラスチックごみが
エサに見える?

浮かんでいる細かいプラスチックごみは動物プランクトンに似ており、それをクラゲ等が間違えて食べ、さらにクラゲを食べることで消化されなかったプラスチックが体内に入り、という連鎖がおこります。また、大きなプラスチックごみはクロアシアホウドリなどの海鳥やウミガメなどの海洋生物がクラゲとまちがえて食べてしまうのです。

見つけた情報③

プラスチックは使われ始めてから200年ほどしか経っていません。そこから生産量は爆発的に増加し、今では生活には欠かせないものになっています。

どんなものに
使われているの?



多くが容器や包装、
電化製品にも欠かせない!!

お菓子や飲み物などの包装や容器のほとんどが、軽くて密閉性も高いプラスチックが使われているのは皆さん知っていると思います。他にはプラスチックの電気を通さない性質は、電気コードやコンピューター等の機械には欠かせません。腐ることのないプラスチックはグラウンドの人工芝や家を建てる材料としても活躍しています。

指令

Mission 01



ボーイ
スカウト向け

まなぶ あそぶ

プラごみ対戦! に挑戦

ねらい

プラごみ対戦は身の回りのプラスチックをさがして点数をつけ、対戦ゲームを行います。あなたの見つけてきた「ごみ」は相手に勝てるかな? 「地球の生物」「人間」それぞれの立場での点数のちがいを体験してみてください。プラごみバスターズとして、プラスチックについて知り、いろいろな立場からプラスチックの使い方、捨て方について考えてみましょう。

準備物

- ✓ プラごみの写真
(ごみ全体の写真と表示マークが見える写真の両方を用意)
- ✓ 視点設定カード
- ✓ 点数計算表
- ✓ 筆記用具



視点設定カード

点数計算表

やり方

- ① 自分がプラごみだと思ふものの写真を撮ってこよう(1人5枚程度)
- ② 二人一組になり対戦相手を決めます
- ③ 対戦前に「視点設定カード」を引いて、「地球の生物」「人間」どちらの視点で対戦するかを決定します
※同じプラごみでも誰の視点かによって獲得できるポイントがちがいます
- ④ 「点数計算表」を見ながら自分の撮影してきたプラごみの点数を計算します
- ⑤ 「せーの」で1枚写真を選び、見せ合います。④で計算した得点が高かった方の勝ちです
- ⑥ ごみの写真がなくなった人がいたら終了。「勝ち」が多かった方の勝利です
- ⑦ 「視点設定」を変えて対戦してみましょう

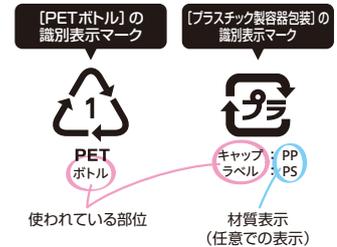
写真のとり方と表示の読み方

プラマークと素材表示と、全体像がわかるように撮影してきましょう

写真のとり方



表示の読み方



考えてみよう

- ① 地球の生き物の視点に立った時、人間の視点に立った時それぞれで感じたことを話し合ってみよう。
- ② 「プラスチックをつかうのをやめる」という単純な結論ではなく、「はぐれプラごみ」をなくすためにできそうなことをもっと具体的に考えてみよう。
- ③ 興味を持ったことがあれば調べてみましょう。オリジナルの点数表を作って、もっと学べる「プラごみ対戦!」にしてみましょう。

指令

Mission 02



ベンチャー
スカウト向け

まなぶ あそぶ

「はぐれプラごみ」 生息地を予測せよ!

ねらい プラごみマスターズとして地域のごみ拾いをする場所をどこにするか、計画を立ててみましょう。

準備物 ✓「ピリカ」アプリ ✓地域の地図 ✓筆記用具

やり方 ① 生息地予測をしよう

「ピリカ」の過去の投稿から考えてみよう

- 自分たちの地域の投稿を見ながら考えてみよう
＜考え方のヒント＞
よくごみが発見されているところはどこ？
あまりごみ拾いされていない場所はどこ？
- 他の地域の投稿を見ながら考えてみよう
＜考え方のヒント＞
よくごみが発見されている場所はどんな場所？
自分たちの地域にも似た場所はある？
- ボーイスカウトが蓄積した投稿履歴から考える
(ボーイスカウトの投稿が増えてきたらやってみよう)
＜考え方のヒント＞
よくハッシュタグで投稿されているごみの種類は何？
それはどこに多い？
みんなはどんな場所で活動している？



「ピリカ」の地図でごみ拾いされた場所がわかります。投稿内容を見ると拾われたごみの種類や様子がわかります。

② ごみ拾い計画を立てよう

生息地予測をもとに目標を立て、ごみ拾いの場所をきめよう

生息地予測が合っていたか、当日確かめ、「ピリカ」で共有しよう!

調査のデータから考えてみよう

「ICC2018の品目別総合結果」など、他の調査のデータを見て、よく落ちているごみの種類から考えてみよう

＜考え方のヒント＞
そのごみは、自分たちの街のどんな場所から出るだろう？
施設や河原、空き地、公園など、場所や人のくらしを想像しながら、「はぐれプラごみ」が現れやすい場所を予想してみよう

ICC2018の品目別総合結果

品目	総合計	割合	順位
▼破片／かけら類			
1 硬質プラスチック破片	22,398	13.4%	1
2 プラスチックシートや袋の破片	16,469	9.8%	2
3 発泡スチロール破片	15,022	9.0%	3
4 ガラスや陶器の破片	5,899	3.5%	10
▼陸(日常生活・産業・医療/衛生等)起源類			
5 タバコの紙殻・フィルター	9,914	5.9%	5
6 タバコのパッケージ・包装	651	0.4%	32
7 使い捨てライター	1,989	1.2%	23
8 飲料用プラスチック(ペットボトル)	12,081	7.2%	4
9 飲料ガラスびん	4,784	2.9%	13
10 飲料缶	4,879	2.9%	12
11 ボトルキャップ(プラスチック)	7,917	4.7%	7
12 ボトルキャップ(金属)	1,134	0.7%	25
13 缶/パックホルダー	23	0.0%	45
14 フォーク・ナイフ・スプーン	172	0.1%	39
15 カップ・皿(紙)	382	0.2%	33
16 カップ・皿(プラスチック)	787	0.5%	29
17 カップ・皿(発泡スチロール)	846	0.5%	28
18 ストロー・マドラー	2,492	1.5%	19
19 食品の包装・袋	9,151	5.5%	6
20 食品容器(プラスチック)	6,861	4.1%	9
21 食品容器(発泡スチロール)	5,184	3.1%	11
22 シラ袋	4,504	2.7%	14
23 紙袋	669	0.4%	31
24 その他プラスチック袋	7,863	4.7%	8
25 ふた(プラスチック)	4,344	2.6%	15
26 洗剤・漂白剤類	2,568	1.5%	18
27 生活雑貨(歯ブラシ、文具等)	3,346	2.0%	16
28 おもちゃ(ボール、フィギュア等)	2,163	1.3%	22
29 風船	143	0.1%	41
30 花火	733	0.4%	30
31 家電製品	50	0.0%	43
32 タイヤ	60	0.0%	42
33 荷造り用ストラップバンド	1,042	0.6%	26
34 プラスチック・発泡スチロール梱包材	2,474	1.5%	20
35 建築資材(柱、釘、トタン板等)	879	0.5%	27
36 注射器	199	0.1%	37
▼海・河川・湖沼(水産・釣り・海上投棄等)起源類			
37 釣り糸	220	0.1%	36
38 ルアー(エギ、ワーム)	2,214	1.3%	21
39 ロープ・ひも	2,681	1.6%	17
40 漁網	356	0.2%	34
41 発泡スチロール製フロート	225	0.1%	35
42 プラスチック製フロート・ブイ	178	0.1%	38
43 かご漁具	144	0.1%	40
44 カキ養殖用パイプ(長さ 10-20cm)	47	0.0%	44
45 カキ養殖用まめ管(長さ 1.5cm)	1,286	0.8%	24
合計	167,423		

※総合結果とは、ICC 期間中(9月、10月)に実施された水際(海岸、河岸、湖沼岸)、水中、内陸会場の総計を示す。

「国際海洋クリーンアップ(International Coastal Cleanup: ICC)」は、アメリカの環境NGO「オーシャン・コンサーヴァンシー(Ocean Conservancy: OC)」の呼びかけによりスタートした国際的な海洋環境保護活動です。

指令

Mission 03



ボーイ
スカウト向け



ベンチャー
スカウト向け

捕獲する

「はぐれプラごみ」 生息地MAPをつくらう!

ねらい

「はぐれプラごみ」を見つけたら、そこにあったごみの特徴に合わせて名前をつけ、タグ付けを行い、「ピリカ」で全国の友団と情報共有しましょう。ごみが見つかった場所や量、ごみの種類が「ピリカ」に蓄積されていきます。

やり方

① 分担を決める

清掃エリアの分担をしましょう。プラスチック、ペットボトル、燃やすごみ、燃やさないごみで分別できるようごみ袋を用意すると、プラスチックごみの量を実感しやすくなります

② 制限時間を決めてごみを拾い、発見場所の様子を撮影

ごみの発見場所の様子を撮影してから清掃します。特に多かったごみや特徴的なごみを後で思い出せるように撮影しておきましょう。撮影した場所がどこか、地図等にメモしておきましょう（「ピリカ」の投稿は後からでも行えます）

③ 撮影した写真を見せ合いながら生息地に名前をつける

清掃終了後、特に多かったごみ、特徴的なごみがわかるような「生息地の名前」をつけてみましょう。観光地に名前をつけるようなイメージで自由な発想でつけてください。つけた名前は「ピリカ」投稿時に「コメント欄」に記載します

例：タバコの吸殻がたくさんあった→「はぐれ吸い殻密集地」

ごみ袋が破れてごみが散乱していた→「カラス襲撃ごみ大量発生地」

④ 「生息地の名前」とハッシュタグをつけて「ピリカ」に投稿

次ページの「ハッシュタグ一覧」を見ながら、投稿につけるハッシュタグを決めます（複数選択可能です）。写真と「生息地の名前」「ハッシュタグ」をコメント欄に記載して「ピリカ」で投稿します

⑤ 予測と実測がどのように違ったか、話し合う

事前に生息地予測をした場合は、当初予測していた「はぐれプラごみ」の生息地と一致していたか確認しましょう。予想外の場所が見つかった場合はなぜそこにごみが多いのか話し合い、地域の中で行える活動や対策を検討してみましょう

イメージ

発見場所の様子を撮影!



場所・ごみの種類・量をメモしておこう

生息地の名前をつける



カラス襲撃
ごみ大量発生地

はぐれ吸い殻
密集地

プラごみバスターズ大作戦の
Webページから
県ごとに拾われたごみの量や
拾われたごみの種類が見えるようになる!
一番多く「はぐれプラごみ」を
捕獲する地域はどこだ?!

ハッシュタグを決める

#吸殻バスター
#タバコ包装バスター

*「ピリカ」内にある「プラごみバスターズ大作戦」のイベントに「参加」すると、ハッシュタグ一覧が自動でコメント欄に入ります。不要なハッシュタグを消して下さい。

「ピリカ」に投稿



コメント欄に「生息地の名前」と「ハッシュタグ」を入れて投稿!

*歩きながらの投稿はやめましょう



見えるデータの例

#ペットボトルバスターはどこあった?どのくらい拾われた?

指令 Mission 03

「はぐれプラごみ」生息地MAPをつくろう!

ハッシュタグ一覧

	ごみタイプ	#ハッシュタグ名	現在のごみ総量 (年 月 日時点)	ごみ総量の順位 (年 月 日時点)
1	飲料用プラボトル (ペットボトル)	#ボトルバスター		
2	タバコの吸殻・ フィルター	#吸殻バスター		
3	食品の包装・袋	#食品包装バスター		
4	ボトルキャップ (プラスチック)	#キャップバスター		
5	その他 プラスチック袋	#袋バスター		
6	食品容器 (プラスチック・ 発泡スチロール)	#食品容器バスター		
7	レジ袋	#レジ袋バスター		
8	ふた (プラスチック)	#プラふたバスター		
9	生活雑貨 (歯ブラシ・文具など)	#雑貨バスター		
10	洗剤・漂白剤類ボトル	#洗剤容器バスター		
11	その他プラスチック	#その他バスター		

ハッシュタグの分類について

<指令2「はぐれプラごみ」生息地を予測せよ!>に記載した、国際海岸クリーンアップ (International Coastal Cleanup : ICC) の「ICC2018の品目別総合結果」に記載された項目のうち、陸起源類のプラスチックごみ上位10種類をハッシュタグにしています。ハッシュタグ名を正確に記載することで、全国の友団の結果を統合することができます。

データが蓄積してきたら、「現在のプラごみ総量」や「ごみ総量の順位」を調べ、世界中で陸上から海洋へ流出してしまっているごみと自分たちが拾ったごみの種類の割合を比較することで、自分たちの地域の傾向を把握して、対策検討のヒントにすることもできます。

指令

Mission 04+



ボーイ
スカウト向け

ベンチャー
スカウト向け

考える

自分にできることを 考えよう

ねらい

ボーイスカウト

キャンプや他の活動のときにも
「プラごみバスターズ」の活動を取り込めないか考えてみよう

ベンチャースカウト

自分で課題を設定し、
「はぐれプラごみ」をへらすプロジェクトを企画してみよう

準備物

- ✓ 「ピリカ」アプリ
- ✓ ワークシート
- ✓ 地域の地図
- ✓ 筆記用具

やり方

1 課題を見つけよう

「ピリカ」の投稿から考えてみよう

他の地域の投稿も見ながら考えてみよう
場所だけでなく、ごみの総量やハッシュタグごとのごみの量を確認することもできます

<考え方のヒント>

- 自分たちの街にはどんなはぐれプラごみが多かったらう?
- 他の地域と比べて気づくことはある?
- そのごみが出た理由はなんだろう?
- それはよく起こること? 時期や場所限定?

自分たちの目で
見たことから考えてみよう

どんな場所にどんなごみがあったか、それはどうして
でたのかを話し合ってみよう

<考え方のヒント>

- 特にごみが多かったのはどこだろう?
- 特に印象に残ったごみは何だった?
- そのごみが出た理由はなんだろう?

2 課題を解決するために、自分たちにできることを考えよう

まず自分でやってみよう、
と思えることを考えよう

<考え方のヒント>

- 人の行動を変えるより、自分の行動ややり方を変えたりするものだとやりやすいです
- 続けられることを考えるのも大事です

仲間を集めたらできそう、
と思えることを考えよう

<考え方のヒント>

- 一人ではできないけど、やってみたいことを考えてみよう
- ボーイスカウトの活動や、自分の知り合いなど、自分たちが持っているものを活用したアイデアから始めてみよう
- 次ページ以降の「ヒント」を読みながら、似たようなことをやっている人の活動をヒントにしてみよう

ワークシート

自分にできることを考えよう

1 解決したい課題

2 ①の課題を見つけた自分の経験や具体例

3 課題を解決するために、
まずは自分ができるところを考えよう

4 課題を解決するために、
仲間を集めたらできそうなことを
考えよう

5 実行する計画を立ててみよう

ボーイスカウト キャンプや他の活動のときにも「プラごみバスターズ大作戦」の活動を取り込めないか考えてみよう

ベンチャースカウト 自分で課題を設定し、「はぐれプラごみ」をへらすプロジェクトを企画してみよう

ヒント
HINT

1

自分にできることを考える

人に話を聞いてみよう!

似たようなことを考えて行動していたり、調査をしていたりする人が世界にはたくさんいます。大学で研究をしている人やボランティア活動をしている人、会社で働いている人の話を聞いてみましょう。きっと自分の世界がひろがります

プラスチックはどこからくるか、
もっと知りたい!

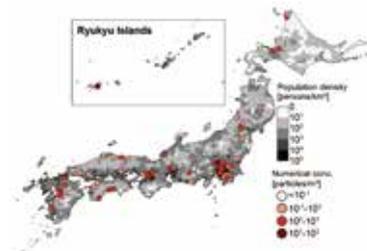
**日本全国の川を調査した
先生発見!**



愛媛大学大学院
理工学研究科
生産環境工学専攻
環境建設工学コース
准教授
片岡 智哉 先生

「いつ、どこから、どのように」を調べて、 解決方法を探したい

陸から海へプラスチックが流れていくことはなんとなくわかっていましたが、いつどこからどのように流れてくるのかをくわしく調べた人はいませんでした。私たちは北海道から沖縄まで、70の川を調べました。私たちの調査では皆の街で細かくなり、雨などで流れ出たプラスチックがたくさん見つかりました。調査は大変でしたが、人が多くくらす街のそばの川ほどマイクロプラスチックが多いこと、雨の日になるといつもの10倍近くに増えることなど、いろいろなことがわかりました。意外と知られていないのですが、台風などの自然災害の時に大量のごみが海に出てしまいます。普段の生活でなるべくプラスチックごみをリサイクルするだけでなく、ごみが川に流されない「災害対策」も重要なのです。



市町村人口密度と河川マイクロプラスチック濃度分布の比較

ごみ拾いの輪って
どう広げたらいいんだろう?

**ごみ関連の人の行動や考え方を
研究している先生発見!**



京都大学大学院
地球環境学
准教授
浅利 美鈴 先生

行動する人としらない人のちがいはなんだろう?

私は、大学生の時に仲間と大学中の研究室を回って、ごみ分別や省エネを促す活動をしていましたが、全員を巻き込むのにすごく苦労しました。多くの人は「良くない」と思っている、実際に行動する人は5人に1人くらいです。私は行動する人を増やすにはどうしたらいいんだろう?と考えて、本を作ったり、行動しやすい人の特徴などの調査や活動をしています。例えばごみとは全然関係がなくてもボランティア活動をした経験がある人とならない人では、行動しやすさが全く違ったりします。他にもごみ箱はある方がいいのか、それともない方がいいのか?という論争はよくされますが、皆さんはどう思いますか?ごみ箱がある公園とない公園、どちらがごみが多く落ちているか調べてみるのもおもしろいかもしれません。



いろいろなプラ製品を知るためにカバンを調べてみるのもおすすめです!

話して
みたい人
を見つける
ヒント



新聞やニュースで
取材された人の
話を読んでみる



インタビュー記事や
論文を読んでみる
研究発表を聞いてみる

おすすめサイト

どんな研究が
されているだろう?

日本の研究 .com
<https://research-er.jp/>

どんなニュースが
あるだろう?

サイエンスポータル
<https://scienceportal.jst.go.jp/>

ヒント
HINT

2

自分にできることを考える

未来に向かって問いを立ててみよう

アイデアを出す時、考えるための問いを立てることも大切です。「なんでこんなにはぐれプラごみが出てしまうのだろう?」だけでなく、「将来どんな暮らしをしたい?」「どんな街に暮らしたい?」といったように未来に向かって問いを立ててみるのも良いかもしれません。

問いを立て、挑戦している先輩たち

科学技術の力で
環境問題の解決を
目指す会社



株式会社ピリカ
小島 不二夫 さん

みんなと楽しく、お金をかけずに 環境問題を解決する方法はないか?

私は子どもの頃からの夢だった環境問題の解決のため、まずは自分の目で確かめてみようとして大学生の時に世界一周の旅に出ました。そこで見つけたのが、ポイ捨てされたごみの問題です。そして「ITを使って、お金をかけずに問題を解決できないか?」と考えて仲間と作ったのがごみ拾いSNS「ピリカ」です。「ピリカ」を使ってもらうことで、ごみ拾いをしている人が「もっとやってみよう」とか「友達もさそおう」と、ごみ拾い活動を広げられるように工夫しました。私は科学が大好きです。その科学が生み出した問題を、科学の力で解決する。まずはポイ捨てごみの問題からはじめて、いつかあらゆる環境問題を解決することを目指して、何年かけても、どんな回り道をして、一步一步前に進んでいきたいと思っています。



ごみ拾いSNS「ピリカ」で全国のボーイスカウトの活動を共有して、活動を続けていくしかけを一緒に作ります!



プラスチック製品を
製造・リサイクル
する会社



墨田加工株式会社
鈴木 洋一 さん

1000年後も残ってしまうごみ。 恥ずかしくない捨て方ってなんだろう?

プラスチックは、私たちの生活に欠かせないものです。たとえば、ガラス瓶より軽くて壊れにくいペットボトルによって、気軽に飲み物を持ち歩けるようになりました。しかし、ガラスや金属と比べると新しいものなので、まだまだルールやリサイクル方法は完璧ではありません。皆さんはごみを捨てた後、どうなるか知っていますか?実はごみを処理してくれる会社によって、「うめる」「燃やして燃料にする」「リサイクルする」と方法が違います。私は1000年後に自分の会社の名前が書かれたプラスチックごみが土の中からたくさん出てくるのはいやだなと思い、工場を出すごみを減らすのはもちろん、捨てる方をしっかり選んだり、出しまったごみを使ってなにか使えるものを生み出したりといった工夫をしています。



スカウトが集めたペットボトルキャップを使ってはぐれプラごみを減らすための「ごみばこ」を作ります!



「小さくても続ける」ことが プラごみバスターズ大作戦!

活動を発信するだけでもいい

ピリカを使い続けるだけでもいい

普段のボーイスカウトの活動に盛り込めたらもっといい

地球と自分のために

考える、活動する、発信する、

その結果、みんなで住みやすい地球にしていこう!



[主催]



[協賛]



[協力]



プラごみバスターズ大作戦は、地域社会の環境保全活動として、ボーイスカウト日本連盟が取り組んでいます。
活動資材の作製・配布は、セブン-イレブン記念財団の協賛金により行っております。

「プラごみ対戦!」印刷教材

地球の生物



環境性が第一!

マイクロプラスチックになりにくい、リサイクルしやすいものを使ってください!

人間



安全と安心が第一!

モノでは耐久性や利便性、食品包装では食品の衛生面も大事です!

「地球の生物」点数計算表

基本ポイント	プラマークの有無 リサイクルしやすい方がいいな	有 +100	無 +0
	複合材料かどうか ※複合材だと分離できないためリサイクル不可 ※素材の違う部品が分離できない場合は「複合材」とします リサイクルしやすい方がいいな	単一材 PE ※表示例 +80	複合材 PE, PA ※表示例 +20 ※素材の表示がない場合は+0です
	印刷の有無 ※包装などプラスチックに印字がある場合はリサイクルがむずかしいよ リサイクルしやすい方がいいな	無 +100	有 +0
	バイオプラスチック PET 環境性が第一!	+50	+50
合計ポイント		点	

「人間」点数計算表

基本ポイント	プラマークの有無 どちらでもいいな	有 +50	無 +50
	複合材料かどうか ※安全性や使いやすさ、加工のしやすさなどさまざまな工夫をするために多様なプラスチックが使われているよ どちらも大事だな	単一材 PE ※表示例 +50	複合材 PE, PA ※表示例 +50 ※素材の表示がない場合は+0です
	印刷の有無 ※どんな商品かがきちんと伝わるように様々な情報が印刷されているよ あったほうが安心だな	無 +0	有 +100
	ポイント PP: ポリプロピレン +50 PE: ポリエチレン +30 PVC: 塩化ビニル +20 ※使いやすくていろいろなところで大活躍!いつもお世話になってます!		
合計ポイント		点	